

福井県立大野高等学校に自転車用ヘルメットを寄贈

～福井県警と連携した交通啓発～

日本損害保険協会福井損保会(会長：小林 弘之・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 福井支店長)では、福井県警が県内2校目の「モデル校」に指定した福井県立大野高等学校に自転車用ヘルメット20個を寄贈しました。

本年4月に努力義務化された自転車用ヘルメット着用の機運を高めるべく、福井県警と連携して取組みを行ったもので、9月29日(金)に同校で寄贈式が行われました。

当日は福井県警交通部 北道主席参事官から同校 中森校長に指定書が交付された後、小林会長から生徒代表にヘルメットが贈呈されました。

福井県では、自転車用ヘルメットの着用率が6.8%と全国平均の13.5%を大きく下回っている状況にあります。福井損保会では、今後も関係各所と連携し、県内の交通安全啓発に取り組んでまいります。

※福井損保会による自転車用ヘルメットの寄贈は、県立武生高等学校に続き2校目となります。



小林会長(右)から生徒代表にヘルメットを贈呈



出席者全員で記念撮影